

令和5年3月教育委員会定例会会議録

日時 令和5年3月16日(木)

13:00~14:30

場所 総合文化会館 研修室3

出席者：森田教育長、小柳委員、馬場委員

山下委員、松尾委員

事務局：朝長次長、太田係長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 全員出席

2. 会議録署名委員氏名

山下委員、松尾委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(2月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

2・3月事業報告、3・4月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

2・3月事業報告、3・4月予定について

(別紙により朝長次長報告)

※報告事項(追加・その他)

森田教育長

はい。2月3月の報告並びに4月の予定について、教育委員会事務局、給食センターからありましたが、ご質問、ご意見などありましたら、お願いします。

【特別意見なし】

では、続いて3月議会定例会について、お願いします。

3) 3月議会定例会について

(別紙により朝長次長から報告)

- 朝長次長 議会の教育長答弁ということでお渡ししていますが、今回は4名の方から、教育委員会関係の質問があります。
- 【資料に基づいて説明】
- 森田教育長 4議員の方々の一般質問についてご説明しました。先ほどの奨学金についてはいかがでしょうか。
- 朝長次長 5,000円程度の増額はどうかになって思っています。まだ県とか国の奨学金の方が大きいので、増額したからといって、借りる方が増えるということはないと思います。奨学金は基金で運用を行っています。年間250万円ぐらいの範囲内で運用がなされています。基金自体は1,700万円ぐらいありますので、その中で運用がされていけば良いかなと思います。
- 森田教育長 倍増はできますか。
- 朝長次長 倍増もできます。
- 松尾委員 あまりたくさん貸しても、返さないといけないので、増額が親切とは限らないかなと思います。返さなくても良ければ借りやすいですが。
- 森田教育長 給付型ではないからですね。そこが今課題になっていますが。
- 朝長次長 返還補助の方は、町の奨学金でなくても、国県の奨学金でも返還補助金の対象にしていますので、奨学金返還補助が増えてくれば、予算的には上がってきますが、奨学金自体は基金の中で運用していますので、今のところは大丈夫と思っています。
- 森田教育長 奨学金の返済で苦労している人がいるので、当然給付型にしていかなければと思います。
- 朝長次長 ものづくり奨学金を作った当時は、奨学金自体を半分返還しなくても良いという奨学金は全国であまりありませんでした。しかし、それ以降、返済不要の奨学金が増えだしてきたかなと思っています。それとは別に今年度から、先ほど言いましたが、焼き物関係、保育士さん、介護士さんの3業種には限定をしていますが、この3業種に就職された方には、奨学金の半額補助を行っています。年間18万を上限で5年間の返還支援事業を行っています。
- 森田教育長 給付型とか返済が求められない奨学金の方へ移行していかなければと思っています。

朝長次長 いろいろご意見をいただきながら、そういう方向で検討できればと思っています。奨学金を増額するとなると条例ですので、改正するには議会の承認が必要となってきますので、早く出すなら6月、間に合わなければ9月とかに上程することになると思います。

森田教育長 5,000円や倍に上げて借りても、返さないといけないのは変わらないので、そんなに色々なところからたくさんは借りないとは思いますが、それが給付ってなれば、多分「よろしくお願いします」となるとは思いますが。だから上げたからといって、どれだけのメリットがあるのかと思います。

松尾委員 償還年数は何年ですか。

朝長次長 すいません資料を持ってきてないので分かりませんが、年数は決まっていたと思います。

森田教育長 いたずらに上げなくても良いといったら、上げなくてもいいのかな。就農者についての支援はもう良いのではないかと思っています。就農者については、結構国の補助等々があるので、今の3業種、窯業関係、保育士関係、介護関係に就職できれば返還支援補助を行いますが、そこでまた結構国の補助がある就農関係を入れると、逆に差がつくのではないかと思っています。

それでは、ここでまとめます。奨学金については、増額の必要ないということで、将来的には給付型の奨学金への移行というということを大きな話題にしていかないと、人材育成につながらないと思います。

南小学校の商工会が連携したワクワクワークデイについては、もちろん中央小や東小がやりたいということであれば全然構わないと思っていますが、教育委員会主導でしなさいということにはしたくありませんと回答しています。東小学校は東なりの良さがあるので、そこにプラスするのは返って良くないと思っています。学校もいっぱいいいところがあるので、新たに行事を入れ込むのは良くないし、したくはありません。学校の独自性を生かしたものに、何かそれが繋がるのであれば良いと思うし、もし何かを入れるとなると、何かを外さないといけない、スクラップアンドビルド、それをしていかなければと思っています。学校現場は大変なので、学校側が要望して来るのであれば、それは構いませんが、現状的にはそれぞれの学校で考えてされているので、南小学校のワクワクワークデイをそっくり他の2校に持っていくような状況は考えてくださいと話をしています。

屋内運動場も、鴻ノ巣の野球場が10億20億30億の桁なので、そのお金があるのであれば、もっと使うところがあるだろうという考えが、どうしても根底にあるので、そういうご意見はありましたが、現状的には大変厳しいということで返答をしたところです。

何か、議会のことでありますか。無ければ、就学援助の認定についてお

願います。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 今回は、継続申請として32件、うち経済的理由が15件、児童扶養手当が17件、新規が4件、経済的理由が2件と、児童扶養手当が2件、申請が 있습니다。

【別冊資料に基づき説明】

森田教育長 まず、継続申請の経済的理由の15人については、数値が1.2を下回っているということで、この15名については継続認定、よろしいでしょうか。

【全委員了承】

次、経済的新規の方の説明をお願いします。

朝長次長 【別冊資料に基づき説明】

森田教育長 はい、それでは、基本的に数字的なことでいうと、1番の方は不認可ということでよろしいでしょうか。

【全委員了承】

朝長次長 児童扶養手当の継続と新規をつけていますが、こちらにつきましては、子育ての方で審査が済んで、児童扶養手当の認定をもらわれていますので、就学支援の方も認定となって参ります。

森田教育長 今回については継続申請32件、新規の4件のうちお1人が不認定ということで、よろしくをお願いします。後だって資料は回収をさせていただきます。

持ち寄り議題は後回しにして、その他の方に移ります。

5. その他

1) 教職員転出者あいさつについて

朝長次長 教職員さんの転出者の挨拶について、今年度は27日（月）の4時からとなっています。

森田教育長 | ここに来られます。学校ごとにお世話になりましたと、事務局に挨拶に来られますので、時間があられたらお願いします。

2) 教職員の人事異動について

朝長次長 | (2) の教職員の人事異動ですが、今年度退職者の辞令交付式を3月31日の3時から役場の応接室で行いたいと思います。

それと教職員の新任、転入者の辞令交付式については、4月3日の11時から、小ホールの方で行いたいと思います。

馬場委員 | 何人辞められますか。

森田教育長 | 東小学校が、川田校長、中央小が小柳先生、志木内先生、古屋敷先生、南が中富先生、中学校が小松先生、石井先生。石井、小松先生は勸奨退職です。定年ではありません。

馬場委員 | 今回は多いですね。

森田教育長 | 今からは、こんな風になってしまうと思います。どうしてもその年代が今から増えてきます。定年退職が5名、勸奨退職が2名、今年は、普通退職はいませんでした。途中で辞める先生が、少しずつ増えてきているところがあります。教職をやっていたけど、別のことをやりたいので辞めるとか、ちょっと早めに辞めたいとか増えてきています。

新規採用は、今年は、中央小学校と南小学校にそれぞれ1名、中学校に1名ということで、東小学校も話はありましたが、6クラスしかないうちに、今東小学校には若手が2人いるので、3年未満の先生が半分の担任を持たなくてはならなくなるので、余りにも厳しいと思って、今回は東には希望しませんでした。その代わり若い方を別な形で入れようと思っています。

併せて町任用の会計年度任用職員の方も、中央小学校と南小学校の図書司書補助員さんが3月をもって退職したいということでしたので、この前面接をして、その部分については、4月から配置できるようにしています。それと、会計年度任用職員の特別教育支援員さんと学力向上支援員さんについても、1名、3月をもって辞めたいという方がおられます。それと今の14名体制を来年度から16名体制に2名増にしましたので、結局3名の募集をしています。まず1人応募がありました。そのあと図書司書補助員の面接に6～7人来ていただいていたのですが、その中で保育士とか介護関係の仕事の免許を持っていたり、経験があった方を、ピンポイントで個人的に当たって、その中から1名支援員の方に回ってもいいですよという方がいたので、今支援員さんは2名は確保出来ました。あと1名なんとか探さないといけません。どうしても保育士とか医療介護福祉関係の経

験、または資格を持った人でないといけないので、そうなるとなかなかそういう人が見つからず困っています。イメージ的に南小学校は何か大変そうなイメージはありますが、実情を調べていくと南小学校には確かに目立った子どもはいますが、学校全体は逆に一番落ちついています。東小学校さんは小さくまとまっているというふうに見えますが、逆に小さい単学級なので、一度崩れ出すと、ばーっといってしまうところがあります。今の2年生にちょっとハードな子がいることが分かりました。人数は13人しかいませんが、かなりの人数の子たちが、なかなか指導が届かない、響かないという子がいることが分かりました。SSWが町内3校回っていく中で、東小学校が今一番大変で、逆に南小が一番落ちついていますと話されます。目立ってはいるけど、全体的に南小が一番落ちついています。一番大変なのは東さんと中央さんですという話です。なので東さんを2名から3名に増やして、特に今の2年生が今度3年生に上がるので、3年生には1人張りつけないといけません。それとどうしてもグレーゾーンの子がいて、普通でいくとこの子は支援学級という子どもがいるので、東さんに3名配置しようと思っています。ただ中央小学校はどうしても母体が大きいので、中央小学校5人、南小と中学校はそれぞれ4人ということで、支援員さんの16名体制を考えています。あと1人見つけないといけないので、中央小学校は4名でスタートすることになるので、何とか残り2週間で、見つけないと思っていますが、なかなか声を掛けるけど、今ちょっと厳しいような状況です。

給食センターの調理のパートさんが1人足りませんが、フルではなくパートなので、なかなか応募者がなく難しいです。

でも、馬場委員が話されたように、波佐見町は本当にありがたいぐらい、このマンパワーに対して、たぶんこれは県内で一番です。そこにSSSスクールサポートスタッフが2校に1名います。そう考えたら、あとは本当に成果を少しずつでも出してもらわなくてはいけないと思っています。この手助けとしてサポーター制度を立ち上げ、うまく利用して、とにかく地域の方々の力をどんどん借りて、子供たちを健やかに育てていけばいいかなと思っています。

こんなことをしていますが、先ほど話されたように、やっぱり発信力が足りないかなと思っています。いつも山下委員さんも話をされるように、学校が取り組んでいることがなかなか見えないっていうことは、やっぱり良くないと思っています。やっていることをどんどん発信、紹介、アピールしようよということはずっと言っています。どんなことをやっているとか、どんなことで困っているとかでも構わないので、どんどん地域の方に発信していこうと言っています。そこをしていかなければ関心も湧かないし、助けてももらえないと話しています。例えば中央の古賀校長のように、ホームページ等々あるいは南もそうですが、学校の取組状況を地域の方々にどんどん発信をして、関心を持ってもらって、そして支援をいただくというスタイルに持っていきたいと思っています。

波佐見町のメリットは、4校が車で10分で行けるところに集まっている

コンパクト化だと思っています。これほど良いところはないと思うし、波佐見町のコンパクト化はたぶんメリットというか、武器になるんだろうと思いますので、そういう点で、高めていきたいなということを思っています。

次、入学式をお願いします。

3) 小中学校入学式について

朝長次長 中学校は7日、教育委員さん全員と、先ほどお話がありましたコミュニティースクールのメンバーさんですが、20日の校長会で決定をされるということです。それと10日がそれぞれの小学校で入学式が予定されています。

森田教育長 学校運営協議会の委員さんを、来賓ではなくて委員として、参列をしていただいて、学校の様子、子供たちの様子、先生たちの様子を見ていただいて、それを土台に運営協議会の中で話題にさせていただきたいと、そういう思いを持っていますが、いかがでしょうか。ですから教育委員さんたちのところに、10数名座るといふ形になると思います。

馬場委員 評議員の皆さんですか。

森田教育長 昔でいうところの学校評議員さんです。コミュニティースクールは、とても大事な役割を持ってもらうことになりましたが、ここ2～3年近く、ほとんど学校には出かけられていない状況なので、学校がどんなことをやっているか全く分からないということでした。分からなかったら評価も出来ないし、アドバイスも出来ない、意見要望も出来ないということだったので、確かにそうだなと思い、まずは知ってもらうために、来てもらわないといけないと思っています。来賓となると人数も多くなるし、やっぱり安全第1ということで、日頃一緒にいない大人の方がたくさん来るとかなり危険になってしまうという思いがあるので、そこについてはまだできないと思っています。来賓は運動会からで良いかなと思っています。でも確かにコミュニティースクールの委員さんたちについては、そういう主旨であれば、人数的にはそう多くはないので、良いのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。

馬場委員 その中には自治会長さんも大体入っているので良いのではないのでしょうか。

森田教育長 今回そういう形でやっていきたいと思っています。20日の校長会で決めて、周知をして、日にちが何日かあるので何とか間に合うかなと思っています。

マスクの件が今日あたりも結構新聞に載っていますが、県や国から学校

には4月1日から新しいマスクの云々が、今日結構具体的に来ていました。だから基本的には4月1日からマスクはしないというか、それが原則になって、ほぼほぼ昔に戻ります。給食の俗に言う黙食もたぶん無くなると思うし、合唱や理科の実験等々も今までと同じようになると思います。歌についてはちょっと距離を取りなさいと書いてありましたが、ほぼ元に戻るといえることになると思います。ただ手指消毒と換気は、これからもずっとしなければならないと思います。こういう課題に対して何人かの保護者の方が来られ、やっぱり学校とか公共機関に行くとマスクを外しましょうということが、それが非常にプレッシャーだという意見がありました。なので4月からは掲示については外すようにしますが、基本的な感染対策はそれぞれが自覚を持って、自分の判断でやるということが、今回の大原則であることは忘れないようにしましょうと言いました。それとマスクをしている、していないで、いじめ、誹謗中傷、差別、そういうことがないようにお互いに配慮していきましょうという話をさせていただきました。学校というところはトラブルが起きるのが当たり前で、子供はいろいろ言い合うのが当たり前で、そこから学ぶことをさせないといけないので、大人がそれをしないようにすることは基本的には間違っているのではないですかって言いました。子供たちは、まみあう中で、トラブルがあって、そこで学ぶことっていっぱいあるわけだから、そういうことはとっても大事な教育の場ですよって話をしたところ、そうですね分かりましたということはいっていただきました。大人が子供を守ろうと余りし過ぎると、トラブルを解決する能力が養っていかないっていうことは、あってはならないと思っています。子供は、マスクしてなかったら、マスクを着けんばやろ一と言うと思います。でも、それをどうして言ったら駄目なのかということ、トラブルを介して勉強していくことが、とても大事なことですよね、そういうことが子供の成長に繋がっていくのではないですかと、来られた方には話をしています。何人か来られましたが、そういう思い、いろいろな思いがありますから、その話をさせてもらい、一応学校は文科や、国、県の通知に従って対応していきますということで答えています。

はい。それでは持ち寄りも含めて何かありますか。

渡邊指導主事

すみません。入学式についてですが、中学校小学校ともに9時半からの開会になります。ですから、中学校の卒業式と同じように、9時10分に学校の校長室にということをお願いします。中学校については、全員が中学校に参加、東小学校は教育長、松尾委員が中央小、山下委員が南小学校ということになりますので、9時10分に、お入りいただきますようお願いいたします。

明日の小学校の卒業式は10時開会になりますので、9時40分をお願いします。馬場委員が東小学校で、小柳委員が中央小学校で、教育長が南小学校となりますので、9時40分に校長室をお願いします。

森田教育長

入学式の開会が早いものですから、卒業式は10時ですね。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

- 朝長次長 先月の委員会の中で、波佐見高校の支援ということでお話がありましたが、担当の企画の方に聞きましたが、今年度と変わっていませんということでした。入学支援金、通学費補助、通学困難者の家賃補助です。それと大学等の受験料補助、部活動の関係で県外遠征費助成ということで、そこは変わっていませんということでした。それと泉荘の改修ですが、東京西海さんがふるさと納税という形で波佐見町を経由してされた寄附金をNPOに交付して、そのNPOが改装を進めているということのようです。今のところ、昨年度のプラスアルファの事業というのは、予定はないということのようです。
- 森田教育長 泉荘を女子寮化するのですか。
- 朝長次長 そこまではっきりとは聞いていません。
- 森田教育長 最初、私達が聞いていたことと違いますね。
- 朝長次長 女子寮に関しては下宿ということだと思いますが、下宿をしてもらう人を探すことが大変ということを知っていますが、どこかにはいらっしやるとは思いますが、他人の子供を預かるということは大変という思いがあられるのではないかと思います。
- 森田教育長 女子寮も4人か5人ぐらいで良いとは思いますが、そんなにたくさんではないと思うので、泉荘が女子寮というイメージではありませんが、個室があつてちょっとおしゃれにすれば、女の子も来ると思います。
- 馬場委員 今でいうシェアハウスみたいな感じでも良いだろうと思います。
- 森田教育長 女子寮も食事をお世話していただく方と寮母さん的な方がいればありがたいかなと思いますが、本来の主旨が消えているのが、非常に気になっています。
はい、他ありませんか。
- 松尾委員 行政改革の推進員をしまして、その会議の中で、給食センターの民営化の話があるのか、ないのかという質問がありましたが、どうでしょうか。
- 太田係長 給食センターの民営化については、一応委託をされている業者の方に年間の委託金額を聞いたところ、年間で5,500万掛かるという返答がきました。その施設の整備とか機械の整備を抜いて人件費だけで5,500万掛かるということでした。そこで、今年度の給食センターの予算で、業者が言っ

ているところの予算を抜き出したところ、5,500万より1,000万近くこちらの予算の方が下回っていました。なので、金額的に見れば、今のところはどうしても委託ではなく、今のままの直営という形をとっていった方がよいと思っています。このことは、町長にも決済を受けていますので、暫くの間は現状維持ということになります。

松尾委員 施設維持については町の方で予算を組んで、修繕等を行うということですか。

太田係長 もし委託したとしても、委託業者は施設の修理とかはしないので、町が全部することになります。

森田教育長 思ったほどメリットがないのではないかと考えています。実際業者委託を行っている自治体をみても、経済的にもメリットがないし、給食そのものの質のレベルダウンが、残念ながら現実的にあるってということが、今分かってくるところがあります。行政改革はそうなのかもしれないけれど、実際のところはというところがありますので、波佐見町とすれば、暫くの間は現状でやっというところがあるので、大体の確認をしているところではあります。

他ございませんか。はい。山下委員どうぞ

山下委員 学校サポーターの募集について、前回ちょっとお話を伺いましたが、宿郷のAさんから情報を頂きました。一度学校サポーターの応募をしたということで、その時は、中央小学校にお孫さんがいらして、そのお孫さんがお祖母ちゃんが来たらちょっと嫌ってということで、中央小は諦めました。南小の放課後サポーターの話をしていただきましたが、保育園か幼稚園から帰ってこられるお孫さんもいらっしゃるもので、2時とか3時ぐらいまでだったら自分はできたけど、時間的に無理だったということでした。自分はそういったサポーターなどは好きだから、もし別の機会でも、何かサポートするようなことがあれば、協力しますということでした。

渡邊指導主事 現状として、中央に3名、東に2名、中学校に1名、南に1名の方をお願いしていますが、今度南のサポーターの1名の方が、学生の方で学力に専念したいということで、3月いっぱい辞められますので、南小学校は1人空きが出てきます。ですから、そこに何とかと思っはいましたが、Aさんとは何度かやり取りをさせてもらって、うちの孫がどうしても嫌ということだったので、また次の機会にということでお話しをさせていただいています。

山下委員 下のお孫さんは良かったということのようでしたが、高学年のお孫さんがどうしてもちょっと嫌だということのようでしたが、時間的にもちょっと無理なところがあって、今回ダメでしたが、もし何かそういう機会があ

れば、協力しますのでお知らせくださいということを伺っています。

森田教育長　　そうであれば、東に行ってもらえばどうでしょうか。この前Bさんも中学校に行きたいと話をされていました。

小柳委員　　うちの家内にもどうかとちらっと話をしました。本の読み聞かせぐらいはできるだろうと。本の読み聞かせはCさんが中央小学校に行かれたという話を聞きました。

松尾委員　　そうです。Cさんに毎日読み聞かせをしてもらっています。久しぶりになんです。

森田教育長　　この前相談されて、中央小学校だけが3年間できていなかったの、電話したら、自分たちもそういう思いがありましたということで、東と南は出来ていましたが、中央だけが出来ていなかったの、Cさんが来られて、中央もしてもらおうようになりました。4月からはもう完全復活しましょうという話をしました。

委員さんの方で、もしお知り合いが、どなたかいらっしゃったら、自分の好きな時間、好きな曜日、好きなだけ関わってもらえればありがたいと思っています。とにかくどんどん入って来てもらいたいと思っています。今婦人会とか民生委員さんとか、いろんな会合の中でも説明をしています。まだ分からない部分があるので、あと行かれたら結構広がっていくのではないかと期待はしています。

先ほど講堂の話をしましたが、講堂の空調も調べてみました。

朝長次長　　4,000万だったと思います。天井から吊り下げではなく、袋になっているところに、左右に5基ずつ吊り下げることのようでした。天井では高すぎて景観的にも悪いから、袋になっているところに吊り下げるようになっていました。それか壁際に縦置きタイプもありましたが、これも左右に5基ずつでしたが、こちらは窓を潰してしまうようになってしまったところがありました。

松尾委員　　音響が変わるでしょうか。

朝長次長　　そこはどうなのかな、何とも分かりませんが、袋部分に吊るすということなので、そこまで影響はないのではないかとはいっています。

森田教育長　　空調ができれば、一年中講堂が利用できるようになるので良いと思います。事業費の方も、ふるさと納税で頑張ってもらえればありがたいと思っています。それこそ国民文化祭までに出来れば良いと思っています。一つの文化財として、町の宝としてアピールしていかなければいけないと思うので、できれば年間活用ができるように進めていきたいと思っています。ま

た、一部の方だけではなく、皆に使われ広く愛されているということを出していくためには、もう少し使い勝手が良いようにしていかなければと思っています。

馬場委員 冬場も使えるようになると、たいぶまた地元も変わってくると思います。

森田教育長 一年中使えるようになってくると、またたいぶ変わってくると思っています。あと、使用の決まりを見たら、ストーブは禁止にはなっていませんでした。火気厳禁とは書いてありましたが、ストーブについては使って良いとなっていました。ただ使った時は、常時監督者を置くとかそういったものは書いてありました。火気厳禁となっていれば、ストーブもダメだろうと思っていましたが、規定等々見直してみたら使用許可書には、ストーブの使用は許可するけど、使用については十分注意してと書いてありました。

馬場委員 エアコンを付けられれば、一番良いかなと思います。

森田教育長 確かに、エアコンが一番良いです。社会教育に調べてもらい、だいたい4,000万でした。高いけど、ありがたいことにふるさと納税がこれだけあるので有効に使わせてもらおうと考えれば良いのかなと思うし、先ほども話題でも言ったように、給食費についても、今から子供の人数が減っていく中で、完全無償化で5,600万から5,800万です。高いことは高いけど、でも魅力ではあるかなと思っています。それと先ほど入学支援金の1,000万の話もありますが、それは本当に高い投資なのか、どうなのかなあと僕自身は思っているので、移住定住促進と少子化っていう大きな課題を考えた時、波佐見町はやるよねっていうところで、給食無償化と入学祝い金は、保護者にとっては結構魅力に映るとは思っています。

小柳委員 昨日の定例会で報告がありましたが、トルコシリアの大震災にふるさと納税を充てると募集したところ、2月12日時点で380件、430万の寄付があったということでした。そういったことでも集まるのは凄いなと思います。

森田教育長 ふるさと納税は、平均して毎月約5,000万です。それで恐らく2月3月であと1億ちょっと増えるとなると、19億5,000万になります。去年が20億2,000万で、県内で2位、わずかな差で佐世保市に次いで2位でした。今18億3,000万ですので、少し減るとは言っても、それでも19億5,000万近く多分なると思うので、多分5,000万、約1億は多分行くと思うので、やっぱり凄いなと思います。川棚が一生懸命やって6000万です。諫早とか大村でも3億です。

- 小柳委員 スチームシップさんの力ですよね。
- 森田教育長 そうです。川棚は課を新たに作って、スチームシップにお願いして、目標1億です。それで実際6,000万ぐらい。なかなか返品が無いので難しいところはありますが。だから波佐見町の19億とか20億ってすごいですよね。だからそこを本当に有効に使わないといけない、やっぱり基金として残しておかないと何があるか分からないので、当然そういったこともあると思いますが、寄付者の思いは皆さん、子供たちのためにとか、未来のためにというところが1番多いので、講堂のエアコンも有効活用していくということで良いことだとは思っています。
- 馬場委員 講堂は本当1回で終わるから、まずは投資をしてもらいたいですね。あと魅力ですよね。保護者、若い人たちが魅力を感じて波佐見町に移って来ることが一番良いことだから、何かの手だては打って欲しいなと思います。
- 小柳委員 この前も話しましたが、日本仕事百貨さんが、全国から公募して10名の方を波佐見町に引っ張って来りましたが、定住するには家賃が高いですねという話になりました。昨日も自治会長会で質問しましたが、波佐見町には空き家が205軒あるので、そういった空き家の中から、話ができそうなところから、シェアハウスという形で受け入れ体制を整えるとか出来ないのかなと思います。そういうことをして行って、若い人たちが来やすくなる体制を作らなければ、ただ来てください、来てくださいだけではダメだと思います。ちゃんと受け入れの準備をしないとイケないと思います。
- 森田教育長 箱モノは目立ちますが、費用対効果だとか維持管理を考えたら、すごいお金がかかるので、野球場も確かに思いとすればありますが、10億です。10億使って、さてどれだけの還元があるだろうと考えた時、厳しいなってやっぱり思いますし、10億のお金があればもっとできることないかなと思います。確かに野球をされている方々は長年の思いなので、このふるさと納税があるうちに野球場を作って、プロを呼びたいという気持ちも確かに分かりますが、ドーム型になれば30億ぐらいかかるでしょうから、そこはちょっと違うレベルなので、難しいとは思いますが。
- 馬場委員 この町の規模じゃ、そこまで行くと、なかなか難しいでしょうね。
- 松尾委員 もうちょっと下の子供たちのことを考えると、簡単に滑り台がある公園がもう少し欲しいですね。
- 森田教育長 難しいですよ、小学生や、この前の20歳の集いでも、何が一番足りないですかという質問に、そういう遊技場とか公園とかが足りない、欲しいっていうことでした。小学生が考えている公園とか遊戯場っていうの

と、今松尾さんが話された公園とはたぶん違うと思います。小学生が考えている公園は、滑り台があるようなグラウンド、公園ではなく、恐らくみゆき公園とか、グリーンランドとか、そのレベルの公園だと思います。そして、20歳の集いの子供たちが言っている公園は、遊戯場というゲームセンター的なものだと思います。だからちょっと違うんですね。小さい子どもが行っている公園が、小学生が行きたい公園、欲しい公園ではないと思います。もうちょっと都会的な、ハイ Society 的な公園を望んでいると思いますが、それは無理だろうと思っています。でもそういうことも子供議会で、子供たちに話をさせたいと思っています。何でダメなのかというところを執行部とのやりとりの中で、納得させることが大切だと思っています。やりたい、やりたいということは分かるけれど、ちゃんと話し合いをして、小学生なりに、なるほどそういうことだからと理解させる、学びに持って行くということの子供議会でしたいと思っています。もう中学3年生は子供議会をやるとうことで計画しています。小学校も、もしかしたら動きが出てくるかもしれません。見学とかではなく、シビアに子供が考える波佐見町の未来っていうところで議論させるってことはとても大事かなって思っています。

松尾委員 子供たちが育ちますよ。議員さんが育ちます。

森田教育長 他になければ、先ほど言ったような教育委員会、学校の管理職の歓送迎会を4月の末から5月の頭にしたいと思います。5校の管理職と教育委員会と町長と、副町長が決まっていれば副町長さんとも。

馬場委員 5月が休みになるので、そこら辺りに入れてもらっても、先生たちも休みになるだろうから良いのではないのでしょうか。

松尾委員 GWの休みの話は、もう皆さんに行っているのでしょうか。

森田教育長 10日に学校には文書は出しました。ボランティア等々で、もしかしたら立たれる方もいらっしゃるかもしれないので、そこら辺りには周知しているかと思っています。

朝長次長 4月の広報に載せます。

森田教育長 先生方もどうしようかなということで、一応夏休みの前倒しなので、休業日ですが、夏休みと同じで、勤務日ではあります。中学校はもう中体連前なので、基本的に先生方はほぼ出てくるだろうと思います。最初は閉庁日にしようと思いましたが、中学校とのバランスがとれないかと思っていますので、一応休業日にしようと思っています。休む人は年休を取るという形になります。ただし管理職も休ませようと思っています。私たちがいるので、別に出てくる必要はないかと思っています。夏休みは日直さんを付けた

りとか、あるいは管理職のどちらかが出てくるというルールがありますが、意味がないなと思っています。私たちがいるわけですから、休業日にするけれど、もう誰も職員はいなくても良いよとしたいと思っています。校長、教頭も、やっとゆっくり休めるところもあるでしょうから、休ませたいと思っています。

それでは、4月の定例会の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

それでは、4月は20日木曜日の10時からということをお願いします。それでは、今年度最後の回になりました1年間、本当に楽しくそして深まりのある中身のある教育委員会が出来たのではないかなと思っていますので、お礼と同時にまた来年1年間頑張りたいと思いで、どうぞよろしくをお願いします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

※次回定例会予定 令和5年4月20日10時00分から
波佐見町総合文化会館

令和5年3月16日教育委員会定例会会議録署名	
署名	松尾 保子
委員	山下 祐子